

「水は水色だった! (3)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

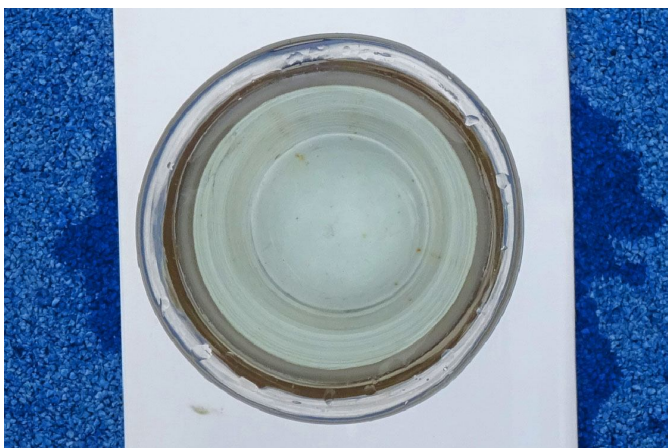
田中 千尋 Chihiro Tanaka



曇りの日に、屋上に置いた空の容器を上からのぞくと、このように見えた。「無色透明」である。

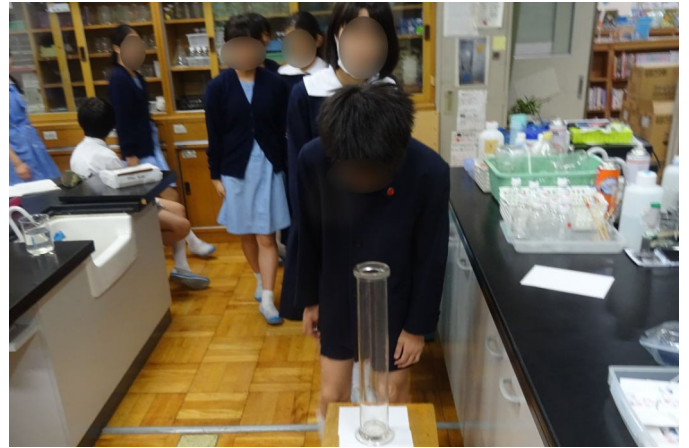


今度は水を一杯に入れてのぞいてみた。私は「何色に見える?」と聞いてみた。



室内と同じように、薄い青色に見える。子どもたちも「青い!」と言っていた。しかし、よく考えると、

屋上の床の色も青い。それが反映している可能性もあるだろう。



最後に理科の時間に、理科室で6年生全員に「からっぽ」「水半分」「水一杯」を観察させてみた。実はこれも問題があって、女児の制服(校内着)の色が水色なのだ。私はうっかりしていた。紺の制服を着たまま試せばよかった。



しかし、「空の容器」と「水一杯の容器」を比べると、どんな服を着ていても、間違いなく水は青く見える。「家の浴槽が白い人は、からっぽの浴槽と、水を一杯に入れた浴槽を比べてみてください」と伝えておいた。この実験は浴槽や洗面器でも試すことができるのだ。